



三菱電機 産業用 除湿機用リモコン

C-202K

据付工事説明書

販売店・工事店さま用



この説明書は三菱電機産業用除湿機用リモコンの据付工事について記載しております。よくお読みのうえ、正しく据付けてください。

1 安全のために必ず守ること

- 据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をお読みのうえ、確実にこなしてください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結び付く可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結び付くもの。

- お読みになったあとは、産業用除湿機本体に添付された取扱説明書などとともに、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方は、取扱説明書などとともに、いつでも見られる所に保管し、移設・修理の際は工事される方に、又お使いになる方が変わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しください。

⚠警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
お客様自身で据付工事をされ不備があると、感電、火災等の原因になります。

据付工事は、この据付工事説明書に従い確実にこなす。
据付けに不備があると、感電、火災等の原因になります。

据付けは、十分に耐える所に確実にこなす。
強度が不足している場合は、本機の落下により、ケガの原因になります。

電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電機移設に関する技術基準」、「内線規定」、及び本説明書に従い施工する。
電気回路容量不足や施工不備があると感電、火災等の原因になります。

配線は所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全の場合は、発熱、火災等の原因になります。

お客様自身で移設はしない。
据付工事に不備があると感電、火災等の原因になります。お買上げの販売店または専門業者にご依頼下さい。

改造、修理は絶対しない。
改造したり、修理に不備があると感電、火災等の原因になります。修理はお買上げの販売店にご相談ください。

⚠注意

可燃性ガスの漏れる恐れのある場所へ据付けない。
万一ガスが漏れて本機の周囲に溜まると発火、爆発の原因になることがあります。

浴室など大量の湯気が発生する所には据付けない。
水のかかる場所、壁が結露するような場所は避けてください。感電、故障の原因になります。

特殊環境には使用しない。
油（機械油を含む）、蒸気、硫化ガスなどの多い場所で使用しますと性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります。

酸性、アルカリ性の溶液、特殊なスプレー等類繁に使用する所へは据付けない。
感電、故障の原因になります。

病院、通信事業所などに据付けされる場合は、ノイズに対する備えを充分に行なう。
インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器等の影響による本機の誤動作や故障の原因になったり、本機側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音などの弊害の原因になることがあります。

配線は張力がかからないように配線工事を行なう。
断線したり、発熱、火災の原因になります。

リモコンケーブル引き込み口を、パテで確実にシールする。
露、水、ゴキブリ、虫等の侵入のため、感電、故障の原因となることがあります。

濡れた手でボタンを操作しない。
感電、故障の原因となることがあります。

本機を据付ける付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光のあたる場所には据付けない。
変形、故障の原因となることがあります。

本機を水洗いしない。
感電、故障の原因になることがあります。

AC100VやAC200Vは絶対に印加しない。 リモコンへの印加電圧は最大で12Vです。破壊、発火、火災の原因となります。

ボタンを先のとがった物で押さない。
火災、感電の原因となります。

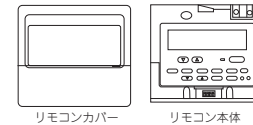
本機は（相対）湿度90%以下の結露しない壁面に設置すること。
故障の原因となることがあります。

本機は（相対）湿度90%以下の結露しない壁面に設置すること。
故障の原因となることがあります。

2 部品確認

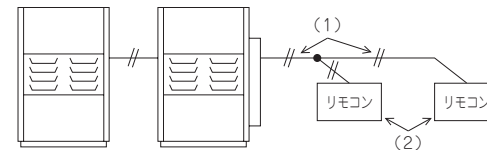
箱の中には、この説明書の他に次の部品が入っていますのでご確認ください。

1. リモコン（カバー、本体）……………1
2. 十字穴付きナベネジ M4×30 ……………2
3. 木ネジ M4.1×25（壁に直接据付ける時使用）……………2



3 伝送線配線

図中(1)(2)は以下説明文(1)(2)と対応していますのでご確認ください。



(1) リモコンの配線

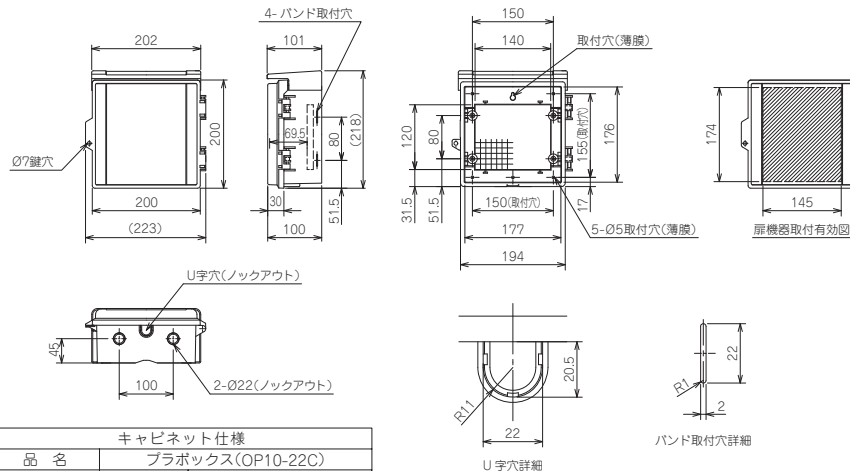
- ①リモコンケーブルは付属していません。下記により必要長さご用意ください。
ケーブル長さ10m以内の場合……………0.3~1.25mm² 2芯ケーブルをご用意ください。
ケーブル長さ10mを超える場合（最大200m）……………1.25mm² 2芯ケーブルをご用意ください。
- ②ケーブルの分岐は端子台で行ってください。

(2) リモコン接続台数

- ① 1台のリモコンで最大4台の除湿機を1つのグループとして操作できます。(同時運転 停止)
- ② 1つのグループには最大2台のリモコンを接続し、操作できます。(操作は後押し操作有効)
※詳細は室内機の説明書をご参照ください。

4 取付け場所の選択

- (1) リモコンは風雨にさらされない屋内に設置してください。[周囲温度範囲0~40℃、湿度30~80%(ただし結露無き事)]
- (2) リモコンは結露する場所、水滴の掛かる場所、腐食性雰囲気には取り付けないでください。
※塵埃、水滴などの雰囲気やむねえず取り付けられる場合には以下のボックスを推奨します。



キャビネット仕様		
品名	ブラボックス(OP10-22C)	
材質 (板厚)	ボディ	ABS樹脂 t2.0
	カバー	アクリル樹脂 t2.0
	ベース	木板ベース t15
色彩	ボディ	ホワイトグレー
	カバー	ライトスモーク

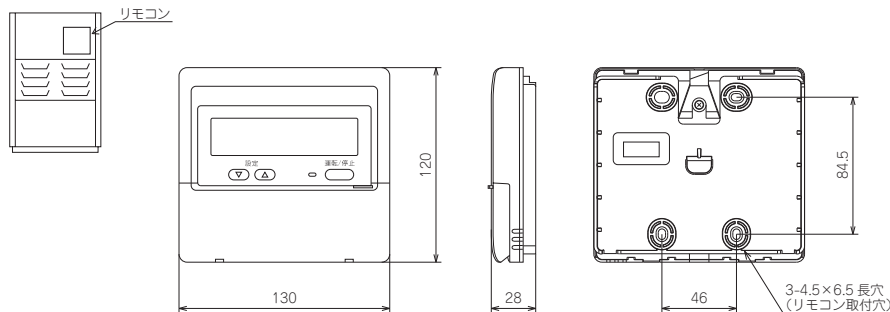
連絡先：〒640-8341 和歌山市黒田132-1 福西電気株和歌山営業所
TEL: (073) 475-0510 FAX (073) 475-0520

※日東工業株式会社製

5 取付方法

1. リモコンの据付位置を決定してください。

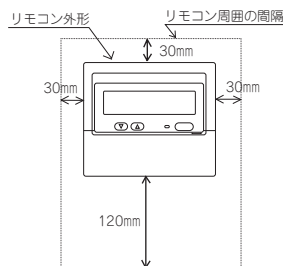
(1) 室内機本体に取り付ける場合は正面上パネルの右下の取付穴をご使用ください。



(2) スイッチボックス、壁などに取り付ける場合は、右図スペースを確保してください。

また、スイッチボックス用の部品は下記部品をご用意ください。

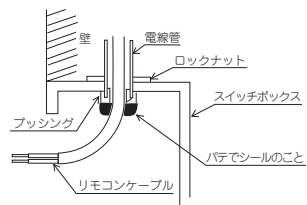
- ・ 2 個用スイッチボックス (JIS C8340)
- ・ 薄鋼電線管 (JIS C8305)
- ・ ロックナット、ブッシング (JIS C8330)
- ・ モール (JIS C8425)



2. 露、水滴、ゴキブリ、虫等の侵入防止のためリモコンコード引込口をパテで確実にシールしてください。

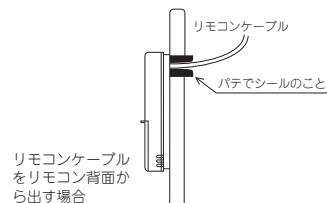
スイッチボックスを使用する場合

・ スイッチボックスに据付けた場合はスイッチボックスと電線管の結合部をパテでシールしてください。



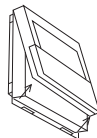
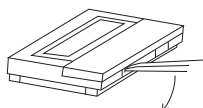
壁に直接据付ける場合

・ 壁に穴を開けリモコンケーブルを通す場合 (リモコンケーブルをリモコン背面から出す場合) その穴をパテでシールしてください。



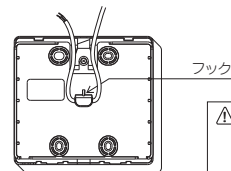
3. リモコン本体のカバーを外します。

・ マイナスドライバーを爪部にはめ込み矢印で示す方向に動かします。



△注意 ドライバーを爪にはめ込んだ状態で回転させないでください。爪がこわれてしまうことがあります。

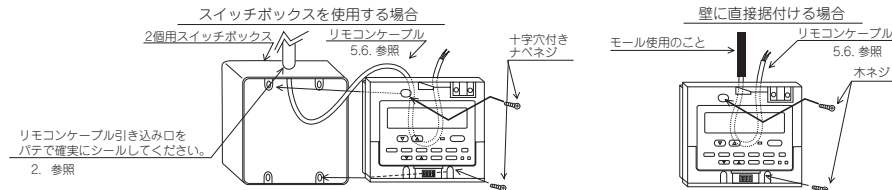
4. リモコンケーブルを本体下ケースフック部にかけます。



※リモコン裏面 (フック部) トラップ部に約200mmケーブル長が必要で。

△注意 リモコンケーブルは必ずフックにかけた後端子台に接続してください。フックにかけないと露、水滴がリモコン内部に侵入し、感電、故障の原因となる場合があります。

5. 本体をスイッチボックスまたは壁に据付けます。

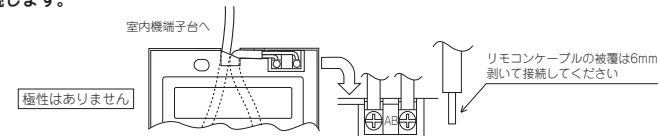


△注意 ネジを締めすぎないでください。下ケースの変形、割れの原因になります。

お願い・据付け面は平らな所をお選びください。

- ・ スイッチボックスまたは壁への据付けは必ず2ヶ所以上を固定してください。
- ・ リモコンケーブルを壁面で引き回す場合はモールを使用してください。
- ・ 再度、壁へ取付けの際は、モリーアンカーなどを使用し、確実に固定してください。

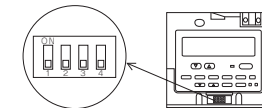
6. リモコンケーブルを本体の端子台に接続します。



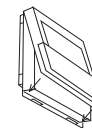
△注意・リモコンの端子台への接続に圧着端子は使用しないでください。基板と接触し故障の原因やカバーと接触し、カバー破損の原因になります。
・ リモコンケーブルの切屑などがリモコン内部に入らないようにしてください。感電、故障の原因となる場合があります。

7. ディップスイッチの設定

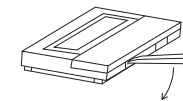
リモコン本体下側にあるディップスイッチは操作しないでください。
(出荷時設定はすべて「OFF」設定です。)



8. 本体にカバーをはめ込みます。



カバーを外す場合は右図のようにマイナスドライバーを爪部にはめ込み矢印で示す方向に動かします



上部爪 (2ヶ所) を先に掛けて、上図のように本体にはめ込みます。

△注意 “パチッ” と音がするまで確実ににはめ込んでください。確実ににはまっていない場合、落下の恐れがあります。

△注意 ドライバーを爪にはめ込んだ状態で回転させないでください。爪がこわれてしまうことがあります。

お願い 操作部には保護シートが貼ってあります。ご使用の際は、保護シートをはがしてください。

三菱電機株式会社

冷熱システム製作所 〒640-8686 和歌山市手平6-5-66 ☎(073) 436-2111 (大代表)